

新聞を読んで「スクラップブック」を作り、自分で考える習慣を身に着けよう!

—この夏は「新聞を読む習慣」を身に着ける絶好のとき—

開倫塾

塾長 林明夫

Q 開倫塾では、1979年の創業以来一貫して、開倫塾の塾生である間に「新聞を読む習慣」を身に着けることを奨励していますね。なぜですか。

A (1)私自身、小学4年生のときに、クラス担任の岡典子先生から「4年生になったのだから、新聞を毎日読むように」と教えられました。その日から、家でとっていた新聞を毎日読むようになりました。小学5・6年生、中学1・2年生と新聞を毎日読んでみると、地元のことだけでなく、世の中のことがよくわかってきました。



(2)中学2年生のころから、世の中には様々な動きがあり、その世の中を支えているのは一人ひとりの人間であることが、何となくわかってきました。

(3)将来就きたい仕事も、いくつか見つかりました。その仕事に就くには、高校や大学に進学して勉強しなければならないことも、少しずつですがわかってきました。



Q なるほど。新聞を読むと、世の中のことを知ったり、自分の将来を考えたりするのに役に立つのですね。そのほかに、役に立つことがありますか。

A (1)様々な分野(ジャンル)の文章を正確に読むスピードが、速くなると思います。

(2)筋道立った考え方、つまり論理的・分析的思考能力が身に着くようになります。なぜなら、新聞は5W1H、つまりWhen(いつ)、Where(どこで)、Who(だれ)、What(何を)、Why(なぜ)、How(どのように)の6つが手際(てぎわ)よくまとめられているからです。



(3)私立中学校入試、公立中高一貫校入試、私立・公立高校入試、高等専門学校入試、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院入試、国家公務員・地方公務員・民間企業などの採用試験、様々な国家資格試験のすべてに、新聞を読んで身に着く「自分で考える力」、「批判的思考能力」は役に立ちます。

(4)外国で学んだり、国際的な仕事・活動に従事することを希望する人は、日本語の新聞と同時に、英字新聞も毎日じっくり読むことが、求められます。国際社会で活躍するには、英字新聞を毎日読み込むことが、最も近道です。仕事に就いてからも、英字新聞を手放したら、よい仕事・よい活動はできません。



Q この夏、新聞に親しんで「力」を身に着けるには、開倫塾で学ぶ塾生の皆様はどうしたらよいのですか。

A (1)開倫塾では、今年の夏も「スクラップブック(新聞切り抜き帳)」を小学4年生以上のすべての塾生の皆様に配付します。小学3年生以下も希望者はお申し出ください。

(2)その「スクラップブック」に、興味・関心のある新聞記事を切り抜いて、のりではりつけ、自分の意見や感想、コメントを書き込み、時々、開倫塾の先生に提出して、見てもらってください。



(3)家で新聞をとっていない場合は、スマホの新聞記事を「書き写し」てくださいね。「学校図書館」や「公共図書館」にある新聞で興味・関心がある記事を書き写し、あるいはお金を払って「コピー」し、それらを「スクラップブック」にはりつけてください。

*学校や公共図書館の新聞は「公共物」ですので、切り取ってはけません。器物損壊罪という犯罪行為になります。「書き写す」か「コピー」をして利用してください。



Q 最後に一言どうぞ。

A (1)新聞記事や論説・社説には「事実」の部分と「意見」の部分があります。慣れてきたら、「事実」と「意見」を、色鉛筆や色ボールペンなどで、分けさせてみましょう。そして、自分の意見も書いてみましょう。

*自分の意見がまとまったら、新聞の「投書欄」に投稿し、読者の皆様に読んでいただくことをおすすめします。

(2)新聞には、「俳句」「短歌」「囲碁」「将棋」「数独(ナンプレ)」「クロスワードパズル」「マンガ」「連載小説」「人生相談」「本の紹介」「健康」「パソコンソフト」「写真」「音楽」「演劇」「映画」「旅行」「美術」など、また、「社説」「コラム」「政治」「経済」「社会の出来事」「海外」「企業情報」「地域版」「スポーツ」「教育」「科学技術」など、様々な「分野(ジャンル)」の内容が満載です。



(3)新聞には「夕刊」もあり、「朝刊」とは別の特色ある記事が満載です。いずれの記事も、一流の記者が一所懸命に取材をして、まとめ上げたものです。

(4)いよいよ7月23日から東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。すべての新聞社は、この東京オリンピック・パラリンピックのために、8月下旬まで大特集を用意しています。ですから、今年の夏は、新聞に親しむ絶好の期間です。今年の夏は、新聞をスミからスミまでよく読み、大切な記事のスクラップをご提案します。7月23日から8月31日までの「スクラップブック」を、皆様の一生の宝物にしてくださいね。



2021年7月19日(月)